

研究構想シート	学校名	西郷小学校
	氏名	廣江 健介
A 研究主題 自分なりに考えを表現し、 自他の考えや思いを大切に 自身の考えを再構築する児童の育成 ~対話的に学びを深める 全員参加の授業~		
B 研究の目的 対話的な学びの活用場面の工夫と対話スキルの向上のための手立ての検証を行う。		
C 子どもの実態 肯定的 <ul style="list-style-type: none"> <li>・優しく、素直な児童が多い。</li> <li>・与えられた課題に対して、一生懸命向かうことができる児童が、一定数いる。</li> <li>・教え合おうとする姿がある。</li> <li>・多様な考えを共有することができる。</li> </ul> 課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら積極的に課題に取り組もうとする力が弱い児童が一定数いる。</li> <li>・力を高めようとする向上心が弱い。</li> <li>・黙って話を聞く、最後まで話を聞くことに課題がある。</li> <li>・聞く側が聞きたくなくなるように話したり、分かりやすく論理的に話したりすることに課題がある。</li> <li>・自分の思いや考えを表現することに苦手意識がある。</li> <li>・相手意識にかける児童が多い。</li> <li>・学力の2極化傾向がある。</li> </ul>	E 手立て・内容（研究仮説） 【対話スキルの向上】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対話に関する能力（話す力、聞く力、比較・分析する力、問題発見する力）の発達段階に応じた具体化と向上のための学習を行うことにより、対話能力が向上するであろう。</li> </ul> 【学力向上のための対話の活用】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対話場面の有効活用により、教科の見方・考え方、知識・理解を深めることができるであろう。</li> </ul>	D めざす子どもの姿 ○考えの表現 ステップ1 自分の考えを持つことができる。 ステップ2 考えを表現することができる。 （書く・話す）  ○考えを聞く ステップ1 他者の考えを聞く。 （友だち・教員・地域のゲスト） ステップ2 自分の考えと比較しながら聞く  ○対話的な学びを経て 自分の考えを再構築し、表現する。
	F 検証方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業を通じた、教職員による見取り。</li> <li>・学力調査、学校評価の関連項目。</li> </ul>	
	G 研究計画 【5月 研究職員会】 つけたい力に関する協議 【6月 提案】 研究主任による研究主題、研究仮説、作業仮説等の提案。 【6～7月 実態把握】 経験者研修による授業公開を通して、実態を把握する。 【夏季休業中】 発達段階に応じた、目指す子ども像の整理。または、実態に基づいた手立ての検討。 【2学期以降】 校内研究に基づいた研究授業の実施。 【冬季休業】 研究授業をもとにした実態・手立ての検討 【3月 研究職員会】 研究のまとめ	